

「みどり」の合流への提案

3.11 後の被災地復興、とりわけ福島の再生・復興を第一に、東京電力福島第一原発事故の収束も含めて原発からの卒業を明確にし、災後の社会・経済・外交に関する政治の基本を環境最重視や持続可能な共生社会、人権の尊重、平和構築などにおく政党の必要性は極めて高く、また国民の要望も日々強まっています。

私たちは、来たる参議院選挙を通してそうした理念と政策の実現をめざす国政政党を誕生させるべく、各党・政治団体、個人等の合流をはかり、参院選後は新たな名称の下に協力して党運営にあたりたいと考えています。

その趣旨にのっとり本日、国政に政党要件をもつみどりの風と先の衆議院総選挙を戦った日本未来の党が、この目的に合意して受け皿づくりを進めるべく、近く両者が合流することを記者発表いたしました。

これまで既に、日本未来の党代表である阿部知子から、地域における環境政党として活動してこられた緑の党に対して、時代の要請に応えるために合流の可能性について検討頂きたい旨申し入れておりましたが、今後は共闘にむけて積極的に三者で意見交換をはかることを、みどりの風と未来の党から提案致します。もちろん、その他にもこうした方向性に共感するあらゆる個人、政治勢力の参加を広く呼びかけていくつもりです。

なお、上記の趣旨をわかりやすく国民の選択肢とするために、私たちは、参院選を戦う名称については比例区・選挙区ともに「みどり」という呼称で統一することを相互確認しています。参院選が終わるまでは、現在みどりの風の持つ政党要件を活用し、選挙結果を踏まえ速やかに党名変更の手続きに入ります。

また、参院選に先立って実施される東京都議会議員選挙にも積極的に候補者擁立をはかり、「みどり」の主張と名称の浸透に努めて当選者を得たいと思います。さらに、私たちの取り組みに共感をよせる有識者・文化人などの応援の輪を広げるべく、努力を続けていきます。

2013年5月17日

日本未来の党代表・衆議院議員
阿部 知子

みどりの風代表・参議院議員
谷岡 郁子